

LEDプロジェクター e-マニュアル

P2 Series





J9477 2014年6月 第2版

著作権および商標について

バックアップの目的で利用する場合を除き、本書に記載されているハードウェア・ソフトウェアを含む、全 ての内容は、ASUSTeK Computer Inc. (ASUS)の文書による許可なく、編集、転載、引用、放送、複写、検索シ ステムへの登録、他言語への翻訳などを行うことはできません。

ASUSは、本書について、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、 代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害(利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データ の損失、業務の中断などを含む)に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負い ません。

本書に記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに変更されること があり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関 する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

Copyright © 2014 ASUSTeK Computer, Inc. All Rights Reserved.

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が 生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわら ず、ASUSは肉体的損害(死亡したケースを含む)と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負い ます。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる 法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負い ます。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者 及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われ ます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て

(2) ユーザーの個人情報やデータの損失

(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

多言語に対応した弊社サポートサイトをご覧ください。 http://support.asus.com

もくじ

はじめに	5
このマニュアルの表記について	6
表記	6
多言語版	6
安全上の注意	7
LEDプロジェクターを使用する	7
修理、パーツ交換	8
プロジェクターのお手入れ	8
廃棄・リサイクルについて	9

Chapter 1: 本製品概要

制口掘西

製品概要		
上面		
前面		
背面		
左側		
右側		
底面		
リモコン		
リモコン	クの電池交換	

Chapter 2: セットアップ

LEDプロジェクターの設置	
1. 電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する	
2. 周辺機器をLEDプロジェクターに接続する	
3.LEDプロジェクターの高さを調節する	
4. 電源ボタンを押す	
5. 焦点を合わせる	

Chapter 3: 使用方法

オンスクリーンディスプレイの操作	
コントロールパネルグリッド	
LEDプロジェクターを初めて使用する	
プロジェクターの設定	40
デモモードを使用する	48
デモモードを有効にする	48
オリジナルデモムービーを作成する	49
メディアセンターを使用する	50
メディアセンターを起動する	50
microSDカード/USBドライブ内のファイルを開く	51
多言語版	58

付録

Federal Communications Commission Statement	60
Canadian Department of Communications Statement	61
Global Environmental Regulation Compliance and Declaration	61
回収とリサイクルについて	61
サポートするPCのタイミング	62
P2 LEDプロジェクターの仕様一覧	63

はじめに

本マニュアルでは、本製品の設置方法、接続方法、各種機能の設定 方法について説明をしています。本製品をご使用いただく前に必ず 本マニュアルをご熟読の上、正しくお使いください。

本マニュアルは、以下の内容で構成されています。

Chapter 1: 製品概要

本製品の各部位および付属のリモコンについて

Chapter 2: セットアップ

本製品の設置および接続方法について

Chapter 3: 使用方法

本製品の使用方法および機能について

付録

本製品の規格や海外の法令について

このマニュアルの表記について

本書には、製品を安全にお使いいただき、お客様や他の人々への危 害や財産への損害を未然に防止していただくために、守っていただ きたい事項が記載されています。次の内容をよくご理解いただいた 上で本文をお読みください。

メモ:製品を使いやすくするための情報や補足の説明を記載しています。

注意:ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性があることを示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

警告:作業人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

多言語版

他の言語のマニュアルをご覧になりたい場合は、弊社サポートサイ トよりダウンロードいただけます。

http://support.asus.com

メモ:本書に記載の内容(安全のための注意事項を含む)は、製品やサービスの仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

安全上の注意

LEDプロジェクターを使用する

- 本製品をご使用いただく前に必ず本書をご熟読の上、正しく安 全にお使いください。
- 本マニュアル記載の指示内容を守って製品をご使用ください。
- 水平で安定した場所に設置してご使用ください。
- 油煙やタバコなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。
- 本製品及びパッケージは子供やペットの手の届かない場所に大切に保管してください。
- 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気
 ロ・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本製品を電源に接続する際は、電圧が適切であるかをご確認 ください。
- 表示されている電源電圧以外は使用しないでください。
- 金属類・燃えやすい物・異物などを本機の吸気口・排気口に差し込んだり、落としたり、近くに放置したりしないでください。
- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。
- 本機を液体の近くで使用しないでください。
- 湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・ 湯気が当たるような場所に置かないでください。
- 本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグを コンセントから抜いてください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

修理、パーツ交換

- 本製品を分解、改造しないでください。修理が必要な場合は、 ASUSサポートセンターにご相談ください。
- バッテリーを間違ったタイプに交換すると爆発の危険があります。バッテリーを廃棄する場合は、リサイクル協力店へお持ちください。または、地方自治体の条例などに従ってください。バッテリーの交換が必要な場合は、ASUSコールセンターにご連絡ください。
- 本製品の部品や消耗品の交換が必要な場合は、弊社が指定する部品をご使用ください。

プロジェクターのお手入れ

- 本機のお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外して ください。
- 本機のケースのお手入れの際は、清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。
- レンズのお手入れは、レンズの温度が下がってからレンズ専用のクリーナーをご使用ください。指などで直接レンズに触れないようご注意ください。
- 液体・雨・湿気を避けてください。
- 本機を気温の低い場所から暖かい場所に移動して使用すると、 レンズや内部コンポーネントが結露する場合があります。結露 を防ぐには、本機の移動後、約2時間経過してから本機を使用 してください。

廃棄・リサイクルについて



このマークは、電気電子機器、水銀を含むボタン電池を一 般廃棄物として廃棄してはならないことを示します。本機 を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品はコン ポーネントをリサイクルできるように設計されています。本 機を廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってくだ さい。



このマークは、バッテリーを一般廃棄物として廃棄してはな らないことを示します。バッテリーを一般廃棄物として廃棄 しないでください。バッテリーを廃棄する場合は、リサイク ル協力店へお持ちください。または、地方自治体の条例な どに従ってください。







製品概要

上面

注意:本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のものと 異なる場合があります。また製品モデルによって、本体のデザインが 異なる場合があります。予めご了承ください。



1 フォーカスリング

本機が投写する画像の焦点(ピント)を合わせます。

2 コントロールパネルボタン

コントロールパネルボタンを使用してオンスクリーンディスプレイ (OSD) を操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能のショートカットキーとしても動作します。



メモ: 各ボタンの詳細については、後述の「**プロジェクターの設 定**」をご覧ください。

*特定モデルのみ





1 投写レンズ

入力された信号をスクリーンに投写するためのレンズです。

注意: レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

2 吸気口

本機内部を冷却するための空気を取り込みます。

警告:本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

背面
P2B/P2M



P2E





リモコンからの信号を受信します。信号受信範囲は受光部真 正面から上下左右に各15度、最大10mです。



付属の電源アダプターを接続します。

警告:本製品の使用中、電源アダプターは非常に高温になります。高温部に触れたり近づいたりすると火傷の原因となることがあります。

警告: 仕様の合わない電源アダプターや電源コードを使用する と、火災や感電、故障の原因となります。電源アダプターは必ず 当社指定の製品をご使用ください。

3 microSDカードリーダー

microSD/microSDHCに対応したカードリーダーです。メディア センター機能を使用することでサポートする形式のコンテンツ を投写することができます。

👍 USB 2.0 ポート (Type A)

USB 2.0/1.1 互換のUSBフラッシュドライブなどのUSBストレー ジデバイスを接続します。

5 Micro USB 2.0ポート*

Micro USB 2.0 (Micro-B) ポートです。 入力デバイスからデータ を転送し投写することができます。

6 オーディオ出力ポート

3.5mm ミニプラグのヘッドホンやアクティブスピーカーを接続 します。

7 Mini-VGA入力ポート

標準VGA互換の出力デバイスを接続します。

8 リセットホール*

クリップなどの先の尖ったものをリセットホールに押し込むこ とで、本製品の設定を工場出荷時の初期状態に戻します。

*特定モデルのみ

9 HDMI/MHL入力ポート

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) またはMHL (High-Definition Multimedia Interface) に対応したデバイスを 接続します。本機はHDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) に対応しています。

10 通気口

本機内部を冷却するために熱を逃がします。

警告:本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

*特定モデルのみ





1 排気口

本機内部を冷却した空気を排出します。

警告:本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

警告: 投写中は手や顔を排気口に近づけたり、変形などの熱による影響を受けやすいものを排気口の近くに置かないでください。

2 セキュリティスロット

Kensington[®]社製マイクロセーバーセキュリティーシステムに対応したセキュリティスロットです。







本機内部を冷却するために熱を逃がします。

警告:本機の吸気口・排気口、通気口をふさがないでください。吸気口・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。





1 フットスタンド

2段階の高さ調節が可能なスタンドです。映像の高さを9度または12度の高さで調整することができます。

2 三脚取り付け部

市販の三脚を取り付けることができます。

リモコン

注意: 本マニュアルで使用されているイラストや画面は実際のもの と異なる場合があります。



コントロールパネルボタン

コントロールパネルボタンを使用してOSD (オンスクリーンディ スプレイ) を操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれ の機能のショートカットキーとしても動作します。

メモ:各ボタンの詳細については、後述の「プロジェクターの設 定」をご覧ください。

2 リモコンボタン

これらのボタンで本機を遠隔操作することができます。

- 5 戻る 前の画面に戻ります。
- ☆ ホーム ホーム画面に戻ります。
 - レーザーポインター このボタンを押している間、 レーザーが照射されます。ボタンを放すと照射を停止 します。
- ✓ 巻き戻し メディアファイルを巻き戻します。
- ▶ " 再生/一時停止 メディアファイルを再生/一時停止し ます。
- ▶ 早送り メディアファイルを早送りします。

3 電池収納部

リモコン動作用のコイン型リチウム電池 (CR2025) を収納します。

メモ: リモコン電池の交換方法については、後述の「リモコンの 電池交換」をご覧ください。

メモ:はじめてお使いになるときは、電池収納部の絶縁フィルムを取り外してください。電池はあらかじめセットされています。

重要:本製品に同梱のレーザーポインター機能付きリモコン はクラス2レーザー製品です。レーザー照射光を覗き込んだ り、レーザー光を人に向けたりしないでください。また、本製 品をお子様に使用させないでください。目を痛める恐れがあ ります。

リモコンの電池交換

- A. 電池収納部のラッチ (A) を右側に押し、ロックを解除しながら 電池ホルダーを下方向 (B) に引き出します。
- B. 電池ホルダーをリモコンから完全に引き抜きます。



C. 新しい電池と交換します (CR2025)。 電池ホルダーの表示を確認し、(+)(-)を正しく入れてください。



D. 「カチッ」と音がするまで電池ホルダーを電池収納部にしっか りと差し込みます。



Chapter 2: セットアップ



LEDプロジェクターの設置

本製品はプラグアンドプレイに対応しており、USBフラッシュドライブ やmicroSDメモリーカードに保存したコンテンツを簡単な操作で投写 することができます。

次の手順に従って、本製品を正しく設置してください。

1. 電源アダプターをLEDプロジェクターに接続する

- A. 電源コードを電源アダプターに接続します。
- B. 電源コードをコンセントに接続します。
- C. 電源アダプターを本製品の電源ポートに接続します。

メモ:本製品は当社製の純正電源アダプター (65W~90W) を使用することができます。



バッテリーについての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項 を必ずお守りください。

- 本機を分解してバッテリーを取り外さないでください。バッ テリーの取り外しが必要な場合は、ASUSコールセンターにご 相談ください。
- 修理技術者以外の人が分解したりしないでください。火災、 爆発、液漏れの恐れがあります。
- 必ず警告ラベルの指示に従い、禁止事項は絶対に行わないで ください。
- バッテリーを間違ったタイプに交換すると爆発の危険があり ます。バッテリーの交換が必要な場合は、ASUSコールセン ターにご連絡ください。
- バッテリーを火中に投じないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解しないでください。
- バッテリーに衝撃を与えないでください。
- 火のそばや炎天下などで放置しないでください。
- バッテリーに液漏れ、損傷等の異常が発生した場合は、直ち にその使用を中止してください。
- バッテリーを一般廃棄物として廃棄しないでください。バッ テリーを廃棄する場合は、地方自治体の条例などに従ってく ださい。
- バッテリーを内蔵する本製品は、子供やペットの手の届かない場所に大切に保管してください。

電源コードについて

ご使用の地域の規格に適合した電源ケーブル、及びコンセントプラ グをご使用ください。

注意:万一、本製品に付属のAC電源コードがお住まいの地域で使用 されているプラグの形状と異なる場合は、すぐにご購入元にお申し 出ください。

メモ: サージ電圧による信号の乱れを防ぐため、出力元デバイスには アース付きコンセントプラグのご利用を強くお勧めします。

プラグ形状一例

※本製品に付属する電源ケーブルのプラグ形状は、ご購入の国や地 域により異なります。



Type O2



Type SE



Type A (アースなし)



Type A (アース有り)



Type BF

メモ:地域や施設によってコン セントの形状は異なります。

2. 周辺機器をLEDプロジェクターに接続する























3. LEDプロジェクターの高さを調節する

本製品にはフットスタンドが搭載されており、映像の高さを2段階で 調整することができます。

警告:

- 強い光によって視力障害などの怪我の原因となりますので、
 電源投入後は絶対に投写レンズをのぞかないでください。
- プロジェクターをキャリングケースに収納する前に、必ずフットス タンドを元の位置に収納してください。

注意:

- 水平で安定した場所に設置してご使用ください。
- 本機の吸気口・排気口・通気口をふさがないでください。吸気
 ロ・排気口・通気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機は壁から30cm以上離してください。
- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりケガや事故の原因となります。取り付け工事は必ず工事専門業者あるいは販売店にご依頼ください。



スクリーンサイズと投写距離の一覧

本機からスクリーンまでの距離により投写サイズが決まります。次の表を参考に、適切なサイズで投写できる位置に本機を設置してく ださい。



スクリーンサイズ - 16:10		投写距離
(インチ)	(mm)	(m)
30	762	0.71
40	1016	0.95
60	1524	1.42
80	2032	1.90
100	2540	2.37
120	3048	2.84
140	3556	3.32
160	4064	3.79

メモ: 台形補正を行うと、投写サイズは小さくなります。

4. 電源ボタンを押す

本機またはリモコンの電源ボタンを押してLEDプロジェクターの電源を入れます。

メモ:安全上の理由から、一部モデルでは電源を入れる際に電源ボタンを2秒以上押す必要があります。



5. 焦点を合わせる

フォーカスリングを左右に動かし、焦点 (ピント)を調整します。

メモ: 焦点を調整する際は、静止画を表示した状態で調整することをお勧めします。





Chapter 3: 使用方法



オンスクリーンディスプレイの操作

注意:本マニュアルに記載のイラストやスクリーンショットは参考用 です。ファームウェアのバージョンによって、利用できる機能や表示さ れる画面、操作するボタンの名称が異なる場合があります。予めご了 承ください。

本製品にはさまざまな機能が搭載されており、それらの機能をすべてオンスクリーンディスプレイ (OSD) で操作することができます。オンスクリーンディスプレイの操作は、本機上面のコントロールパネルボタン、またはリモコンで操作します。

オンスクリーンディスプレイの操作方法や設定内容については、後述の説明をご覧ください。

/ISUIS P2			
	画像		
	ビデオ	メディアセン	19-
6	音楽		Ċ
	ドキュメント	-C SD Card	尊 プロジェク ター設ま /SUS

ー コントロールパネルグリッド

コントロールパネルグリッド

オンスクリーンディスプレイ操作を行う際は、投写映像に表示されるコントロールパネルグリッドに合わせて各ボタンを操作します。 コントロールパネルグリッドは、本機上面のコントロールパネルボタン、またはリモコンのボタンの配置に準じています。



LEDプロジェクターを初めて使用する

はじめて本機を使用する場合は、次の手順で作業を行ってください。

- 1. Chapter2: セットアップの手順に従って正しく設置した後、電源 ボタンを押します。
- 言語選択画面が表示されます。コントロールパネルグリッドに 従って、コントロールボタンまたはリモコンで使用する言語を選 択します。
- 3. デモモードの選択画面が表示されます。デモモードを使用する 場合は「オン」を、使用しない場合は「オフ」を選択しOKボタン を押します。

デモモード「オン」 - デモムービーを再生します。

メモ:

- デモモードを「オン」の状態で電源をオフにした場合、次回起動時に必ずデモモードのコントロールパネルグリッドが表示されます。
- デモモードを「オン」にすると、自動的に内蔵デモムービー、また はオリジナルデモムービーが再生されます。
- デモモードの詳細については、後述の「**デモモードを使用する**」を ご覧ください。

デモモード「オフ」 - デモムービーを再生せず、接続されたデバイスのスキャンを開始します。

メモ: デモモードを「オフ」の状態で電源をオフにした場合、次回起動時はデバイスのスキャンが実行されます。

デモモード時に ボタンを押すことで、デモモードを停止し、接続されたデバイスのスキャンを開始することができます。

プロジェクターの設定

本機は、コントロールパネルボタンを使用してオンスクリーンディス プレイを操作します。コントロールパネルボタンはそれぞれの機能 のショートカットキーとしても動作します。

メモ:メディアセンター機能を使用している際は、「プロジェクター設 定」を選択することでメインメニューが表示されます。



本機の電源のオン/オフを切り替えます。



投写映像の明るさを調整します。



投写映像の台形歪みを調整します。

☆インメニュー/OK

メインメニューの表示、または設定内容を適用するOKボタンとして 使用します。



スピーカー音量を調節します。

警告:はじめから音量を上げすぎないようご注意ください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります。電源を切る前にボリュームを下げておき、電源を入れた後で徐々に上げてください。



映像のコントラスト (明暗差)を調整します。

レー・ メディアセンター*

メディアセンターを起動します。

メモ: メディアセンターの詳細については、後述の「**メディアセンター を使用する**」をご覧ください。

VGA VGA*

Mini-VGA入力ポートに接続されたデバイスの映像を投写します。

HDMI HDMI*

HDMI入力ポートに接続されたデバイスの映像を投写します。 * 特定モデルのみ



本機に接続された入力デバイスをスキャンします。



* 特定モデルのみ



投写環境に応じて、プリセット設定から最適な画質に切り替えることができます。利用できるプリセット設定は次のとおりです。 標準、ブラックボード、ホワイトボード、ダイナミック、ゲーム、 シアター、風景





投写映像の画質を設定します。設定項目は次のとおりです。

メモ: この機能は、HDMIポート使用時のみ利用することができます。



- ・ シャープネス:映像の鮮鋭度を調整します。
- 彩度: 映像の彩度を調整します。



投写映像の位置を設定します。設定項目は次のとおりです。



- **自動台形補正:** 映像の自動台形歪み調整機能のオン/オフを切り替えます。
- **水平位置:**映像の水平位置を調整します。
- プロジェクター設置位置:本機の設置状態に合わせて、映像の 投写方法を設定します。
- **垂直位置:**映像の垂直位置を調整します。
- **自動調整:**投写映像を自動調整します。
- フェーズ (位相): 入力された信号のタイミングに合わせて、プロジェクターの位相を調整します。
- クロック(周波数):入力された信号のタイミングに合わせて、 プロジェクターの周波数を調整します。



本機の各種設定を行います。設定項目は次のとおりです。



- インフォメーション:本機の現在の状態を表示します。
 - 製品モデル名
 - 現在表示している入力デバイス
 - 現在設定されているSplendidモード
- ・ 設定の初期化:本機の設定を工場出荷時の状態に戻します。
- ・ 自動メニュータイムアウト:指定した時間が経過した後に、オン スクリーンディスプレイのコントロールパネルグリッドを自動的 に閉じます。
- アスペクト比:入力信号の種類や縦横比、解像度に合わせて、 投写映像のアスペクト比を設定します。
- 言語:本機の表示言語を設定します。

- 自動電源オフ:指定したアイドル時間が経過した後に、自動的 に電源をオフにします。時間は30分単位で設定することができ ます。
- ・ Demo Mode: デモモード機能のオン/オフを切り替えます。

メモ: デモモードの詳細については、後述の「デモモードを使用する」 をご覧ください。

e-Manual:本機に内蔵されているデジタルマニュアルを表示します。

デモモードを使用する

本製品はデモンストレーション用のデモモードが搭載されており、 内蔵されているデモムービーやユーザーの設定したオリジナルデモ ムービーを再生することができます。

デモモードを有効にする

- 「メインメニュー」ボタンを押してメインメニューを開き、「プロ ジェクター設定」を選択します。メディアセンター機能を使用し ている場合は、「プロジェクターの設定」の選択をしてから同じ 操作を行ないます。
- 2. 「セットアップ」→「Demo Mode」の順に進みます。
- 3. 「**オン**」を選択した状態でOKボタンを押し、デモモードを開始 します。

重要: デモモードを「オン」の状態で電源をオフにした場合、次回起 動時に必ずデモモードのコントロールパネルグリッドが表示されま す。コントロールパネルグリッドの表示後、操作せずに一定時間経過 すると自動的にデモムービーの再生が開始されます。

オリジナルデモムービーを作成する

本製品では、複数の画像ファイルを使用してオリジナルのデモムービーを作成することができます。オリジナルデモムービーにはBGM を追加することも可能です。

手順

- コンピューターを使用して、microSDメモリーカードまたはUSB フラッシュドライブのルートディレクトリに「ASUS」フォルダー を作成します。(カギ括弧の入力は不要です)
- 2. デモムービーに使用する画像ファイル、音楽ファイル、動画ファ イルを「ASUS」フォルダーに保存します。

メモ:

- ASUSフォルダー内に画像ファイル、音楽ファイル、動画ファ イルが混在している場合、デモモードは動画ファイルだけを デモムービーとしてループ再生します。
- サポートするファイルフォーマットについては、後述の 「P2 LEDプロジェクターの仕様一覧」をご覧ください。
- 3. 「**ASUS**」フォルダーが作成されたmicroSDメモリーカードまた はUSBフラッシュストレージを本機に接続します。
- 4. 本機の電源をオンにし、デモモードをオンにします。

メディアセンターを使用する

本製品に搭載のメディアセンター機能では、別途機材準備すること なく、画像、動画、音楽、ドキュメントの各ファイルの再生に対応して います。microSDメモリーカードまたはUSBフラッシュドライブに保 存されたメディアファイルを簡単に再生、投写することができます。

メディアセンターを起動する

microSDメモリーカード、USBフラッシュドライブが接続された状態 で電源をオンにすると、本機は優先的にメディアセンターを起動し ます。

メディアセンターを手動で起動する場合は、コントロールパネルの 「」「「「メンを押します。

microSDカード/USBドライブ内のファイルを開く

画像ファイル

サポートするファイルフォーマット

- JPG
- JPEG
- BMP (bitmap)

画像ファイルを開く

- 1. microSDメモリーカードまたはUSBフラッシュドライブを本 機に接続します。
- 2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
- 3. 「画像」を選択します。



- 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスク リーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧く ださい。
- 5. 💷 ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
- 6. ファイルの再生中に ボタンを押すことで、コントロールパ ネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

サポートするビデオ形式

ファイル タイプ	ビデオ コーデック	解像度	フレーム レート	オーディオ コーデック
AVI	H.264 BP, MP, HP @ L4.1 MPEG-4 ASP @ L5 MPEG-4 SP Divx High Definition Xvid H.263 Profile 3 Level 70 MPEG-1 MPEG-2 MP@HL MJPEG Baseline 4:4:4	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 HE-AACv1 PCM / G.711
MOV	H.264 BP, MP, HP @ L4.1 MPEG-4 ASP @ L5 MPEG-4 SP Divx High Definition Xvid H.263 Profile 3 Level 70 MPEG-1 MPEG-2 MP@HL MJPEG Baseline 4:4:4	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 HE-AACv1 AMR-NB AMR-WB PCM / G.711
MP4	H.264 BP, MP, HP @ L4.1 MPEG-4 ASP @ L5 MPEG-4 SP Divx High Definition Xvid H.263 Profile 3 Level 70 MPEG-1 MPEG-2 MP@HL	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 HE-AACv1 AMR-NB AMR-WB
MPG	MPEG-1 MPEG-2 MP@HL	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3
3GP 3G2	H.264 BP, MP, HP @ L4.1 MPEG-4 ASP @ L5 MPEG-4 SP Divx High Definition Xvid H.263 Profile 3 Level 70 MPEG-1 MPEG-2 MP@HL	1080P	30 fps	HE-AACv1 AMR-NB AMR-WB

(次項へ)

ファイル タイプ	ビデオ コーデック	解像度	フレーム レート	オーディオ コーデック
WMV ASF	MPEG-4 SP Divx High Definition Xvid VC-1/WMV9	1080P	30 fps	WMA8/9
MKV	H.264 BP, MP, HP @ L4.1	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 HE-AACv1 PCM / G.711 AC3
VOB	MPEG-2 MP@HL	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 AC3 DTS
DAT	MPEG-1	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3
TS	MPEG-2 MP@HL	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3
M4V	MPEG-4 ASP @ L5 MPEG-4 SP	1080P	30 fps	N/A
FLV	Sorenson Spark	1080P	30 fps	MPEG-1 L1-3 PCM / G.711

メモ:本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由 により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承くだ さい。

ビデオファイルを開く

- 1. microSDメモリーカードまたはUSBフラッシュドライブを本 機に接続します。
- 2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
- 3. microSDカードまたはUSBドライブを選択します。



4. 「ビデオ」を選択します。



- 5. 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスク リーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧く ださい。
- 6. 💷 ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
- ファイルの再生中に ボタンを押すことで、コントロー ルパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができ ます。

サポートするオーディオ形式

ファイルタイプ	サンプルレート (kHz)	ビットレート (kbps)
MP1/ MP2/ MP3	8-48	8—320
WMA	22-48	5—320
OGG	8-48	64—320
ADPCM-WAV	8-48	32—384
PCM-WAV	8-48	128—1536
AAC	8-48	8—256

オーディオファイルを開く

- 1. microSDメモリーカードまたはUSBフラッシュドライブを本 機に接続します。
- 2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
- 3. microSDカードまたはUSBドライブを選択し、次に「**音楽**」 を選択します。



- 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスク リーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧く ださい。
- 5. 💷 ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
- 6. ファイルの再生中に ボタンを押すことで、コントロールパ ネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。

ドキュメント

ファイル タイプ	サポート バージョン	ページ数 /行数の 制限	サイズ制限	備考
Adobe PDF	PDF 1.0 PDF 1.1 PDF 1.2 PDF 1.3 PDF 1.4	最大100ページ (ファイル1つに付き)	最大75 MB	-
Microsoft® Office Word	Microsoft® Office Word 1995 Microsoft® Office Word 1997 Microsoft® Office Word 2000 Microsoft® Office Word 2002 Microsoft® Office Word 2003	Ooffice ビューアは Microsoft® Word ファイルのすべて のページを同時に は読み込まないた め、ページ数や行 数の制限はありま せん。	最大100 MB	簡体字中国 語の太字は サポートしま せん。
Microsoft® Office Excel	Microsoft® Office Excel 1995 Microsoft® Office Excel 1997 Microsoft® Office Excel 2000 Microsoft® Office Excel 2002 Microsoft® Office Excel 2003 Microsoft® Office Excel 2007 (.xlsx) Microsoft® Office Excel 2010 (.xlsx) Microsoft® Office Excel XP	行: 最大595行 列: 最大256列 シート: 最大100枚 メモ: 上記の制限の うち1つでも当ては まる場合、ファイル を投写することは できません。	最大15 MB	パスワード で保護され たシートはサ ポートしませ ん。
Microsoft® Office PowerPoint	Microsoft® Office PowerPoint 1997 Microsoft® Office PowerPoint 2000 Microsoft® Office PowerPoint 2002 Microsoft® Office PowerPoint 2003 Microsoft® Office PowerPoint 2007 (.pptx), Microsoft® Office PowerPoint 2010 (.pptx), Microsoft® Office PowerPoint XP、.ppx、.ppsx	最大1000 ページ (ファイル1つに付き)	最大19 MB	スライド ショーのコマ ンドはサポー トしません。

メモ:本書に記載の内容は、製品やサービスの仕様変更などの理由 により、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承くだ さい。

ドキュメントファイルを開く

- 1. microSDメモリーカードまたはUSBフラッシュドライブを本 機に接続します。
- 2. 本機の電源をオンにし、メディアセンターを起動します。
- 3. microSDカードまたはUSBドライブを選択します。
- 4. microSDカードまたはUSBドライブを選択し、次に「**ドキュ** メント」を選択します。



- 再生するファイルを選択します。詳しい操作方法はオンスク リーンディスプレイのコントロールパネルグリッドをご覧く ださい。
- 6. 💷 ボタンを押して、選択したファイルを再生します。
- ファイルの再生中に ボタンを押すことで、コントロールパネルグリッドの表示/非表示を切り替えることができます。



他の言語のマニュアルをご覧になりたい場合は、弊社サポートサイトよりダウンロードいただけます。 http://support.asus.com



Federal Communications Commission Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the distance between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than that which the receiver is connected to.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- 1. This device may not cause harmful interference, and
- 2. This device must accept any interference that may cause undesired operation.

Canadian Department of Communications Statement

This digital apparatus does not exceed the Class B limits for radio noise emissions from digital apparatus set out in the Radio Interference Regulations of the Canadian Department of Communications.

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Global Environmental Regulation Compliance and Declaration

ASUS follows the green design concept to design and manufacture our products, and makes sure that each stage of the product life cycle of ASUS product is in line with global environmental regulations. In addition, ASUS disclose the relevant information based on regulation requirements.

Please refer to <u>http://csr.asus.com/english/Compliance.htm</u> for information disclosure based on regulation requirements ASUS is complied with:

Japan JIS-C-0950 Material Declarations

EU REACH SVHC

Korea RoHS

Swiss Energy Laws

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

サポートするPCのタイミング

HDMI (PC)

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
640×480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
800×600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
1024×768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
1280×800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
1280×960	1280×960_60	60.000	60.000	108
1360×768	1360×768_60	60.015	47.712	85.500
1440×900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500

HDMI (ビデオ)

タイミング	解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	
480p	720×480	59.94	31.47	27
576p	720×576	50	31.25	27
720/50p	1280×720	50	37.5	74.25
720/60p	1280×720	60	45.00	74.25
1080/50i	1920×1080	50	28.13	74.25
1080/60i	1920×1080	60	33.75	74.25

Mini VGA

解像度	モード	リフレッシュ レート (Hz)	水平周波数 (kHz)	クロック (MHz)
640×480	VGA_60	59.940	31.469	25.175
800×600	SVGA_60	60.317	37.879	40.000
1024×768	XGA_60	60.004	48.363	65.000
1280×800	WXGA_60	59.810	49.702	83.500
1280×1024	SXGA_60	60.020	63.981	108.000
1280×960	1280×960_60	60.000	60.000	108
1366×768	1366×768_60	60.015	47.7	85.86
1440×900	WXGA+_60	59.887	55.935	106.500

P2 LEDプロジェクターの仕様一覧

		P2B	P2M	P2E
主な仕様	パネルサイズおよび駆	0.45インチDLP®		
	<u>動方式</u>			
	光源	R/G/B LED		
	光源の寿命	最長30,000時間		
	解像度 (ネイティブ)	WXGA 1280×800		
	ライト出力(輝度)	350 lm 500 lm 350 lm		
	コントラスト比	3500:1 (DCR)		
	彩度 (NTSC)	標準 100)%	
	最大表示色	約1,6707	一	
投写レンズ	スローレシオ	1.1 (42インチ@1m)		
	投写距離	0.5~3m		
	スクリーンサイズ	20~120	インチ	
	投写オフセット	100 ± 5 %		
	ズーム比	固定		
映像機能	画質モード	7モード (標準、ブラックボー		
		ド、ホワイトボード、ダイナ		
		ミック、ゲーム、シアター、		
		風景)		
	台形補正	デジタル (最大 +/- 40度)		
	自動台形補正	サポート		
	アスペクト比	16:10/ 16:9 / 4:3/ Auto		
		フロント、フロント天吊り、		
		リア、リア天吊り		
オーディオ 機能	内蔵スピーカー	1.5W×1		
	 アナログ信号周波数	31.5~55.9 KHz(H)/60 Hz(V)		
周波数				

(次項へ)

		P2B	P2M	P2E
消費電力	電源オン	30W	50W	27W
	スタンバイ	0.5W未満		
ノイズ	騒音レベル	32dB (スタンバイ モード)	34dB (スタンバイ モード)	32dB (スタンバイ モード)
入力/出力		25dB (シアター モード)	30dB (シアター モード)	25dB (シアター モード)
	オーディオ 出力	3.5mm ミニプラグ		
	カード リーダー	microSD カードス ロット×1 (マルチ メディア再	microSD カードス ロット×1 (マルチ メディア再	-
	USBポート	<u>生</u>) 搭載	生)	-
	ビデオ	搭載		-
サポートする メディア形式	オーディオ	サポート		-
	画像	サポート		-
	ドキュメント	サポート		-
本体設計	色	ホワイト	ブラック	
	三脚取り付 け部	あり		
	スタンド	付属		

(次項へ)

		P2B	P2M	P2E	
本体設計	搭載ボタン	メディアセンター、 入力、 電源、 イメージ位置、 輝度、 画質設定、 台形補正、 メインメニュー / OK、 ボリューム、 Splendid、 コントラスト、 セットアップ		VGA、 HDMI、 電源、 イメージ位置、 輝度、 置質設定、 台形補正、 メインメニュー / OK、 ボリューム、 Splendid、 コントラスト、 セットアップ	
セキュリ ティー	セキュリティ スロット	Kensington®			
サイズ	本体	142.4mm>	<130mm	1×34.6mm	
	キャリングケース	. 235mm×179mm×113mm			
質量	本体	約666g	約532g	約502g	
	製品	約1.4kg	約1.2kg	約1.2kg	
動作温度		0~40℃			
動作湿度		20~90%			
アクセサリー		専用キャリングケース、 電源アダプター、電源コード、 VGA-Mini-VGA変換ケーブル、 リモコン (電池付)、 クイックスタートガイド、 製品保証書			
準拠規格・条例		FCC/UL/CE/CB/CCC/C-tick/VCCI/ PSE/CU			

- * 製品は性能・機能向上のために、仕様およびデザインを予告なく変 更する場合があります。
- * 仕様およびデザインは地域により異なる場合があります。
- * 本書に記載の製品名及び企業名は、登録商標として登録されています。

